

# 東京国公だより

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議 2024年4月30日 63-050

メール アドレス [uematsu@tk-kokko.org](mailto:uematsu@tk-kokko.org) 東京国公 HP <http://tk-kokko.org/>

昨日・29日は一時1ドル  
160円に！＝1990年4月  
以来34年ぶりの160円台  
危ないぞ！日本経済

09時の立ち上がりは158円台

10時30分160円台まで下落

午後2時155円→3時157円→4時30分154円

## 乱高下の一日

29日の外国為替市場は、約34年ぶりに一時1ドル160円台まで円安が進みました。その後157円台の値をつけ、夕刻には154円台に戻すなど、乱高下の一日に見

東京の外国為替市場、昨日は祝日のため閉鎖でしたが、シンガポールなど東南アジア諸国では日本時間の就業時間中も取引が行われていました。

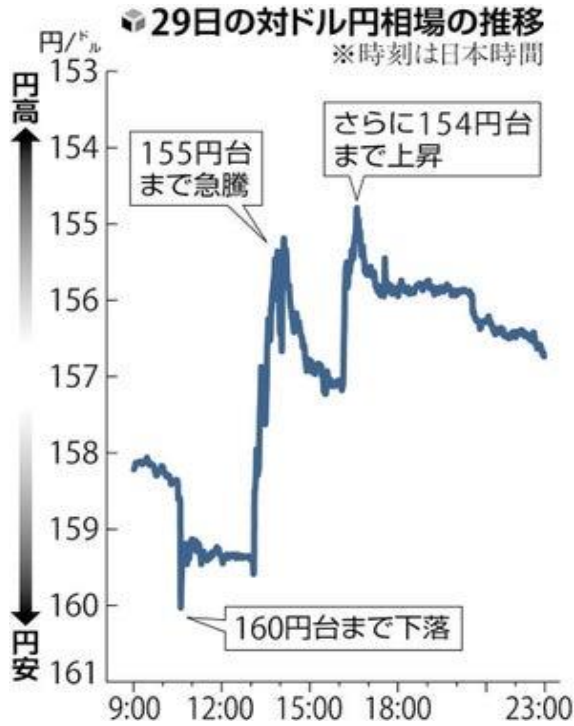
## 政府介入か？

この乱高下から、政府による円買いドル売りの為替介入が行われたとの見方が金融市場で広がりました。しかし円急落の直接的背景には好調な米経済や日本の低金利政策があります。円安はしばらくの間は解消されることはないでしょう。

実質賃金低下と長期の物価高に苦しむ家計をど

円安が物価高騰を招き家計を直撃  
今年のメーデーはまさに生活防衛・物価メーデー  
物価高騰抑制、実質賃金引上げ、時給1500円以上の全国一律最賃  
制度の確立、命と暮らしを守る社会保障の拡充、軍事費を削って暮らしをまもれ、年金引き下げNO！、ジェンダー平等社会を

舞われました。



円・ドル相場、1時間で4円の急騰！ありえない現象です。政府の為替介入があった事は間違いないでしょう。しかし根本的な改善は皆無！

う改善するか、その課題が重くのしかかってきています。  
明日のメーデーでは「物価高騰を抑えろ！」の声を大いにアピールしましょう。

神田財務官、「申し上げることはしない」と申すだけとは情けなさ過ぎませんか？



## 国民の懐を 温める政策 こそ事態を 打開します

外国為替市場では円安に歯止めがかからず、家計は物価高騰により深刻な打撃を被っています。

今春闘では大企業を中心に大幅な賃上げを実現したとの報道ですが、物

価高騰を考慮すれば賃金はマイナスです。政府・日銀が円安をこのまま放置すれば、春闘の成果が消滅しかねない状況であることは間違いありません。

こうした状況で円安がさらに加速すれば、大企業から中小企業に向かうはずだった賃上げの流れは、完全に断ち切られることとなります。

中小企業を束ねる日本商工会議所の小林健会頭が4月17日の会見で、「円安は非常に困る。中東の紛争もあり油の価格も上がる。適切な措置をお願いしたい」と政府・日銀に求めたのも当然です。

円の為替相場下落が続く要因は、米連邦準備制度理事会（FRB）の

利下げ観測が後退したことも言われています。

FRBは高金利による景気後退への懸念から利下げを模索してきたが、インフレが想定以上に続き、金融緩和に転じる時期を先送りせざるを得なかったとも言われています。いずれも決定しかねているのが現状です。しかしアメリカはまだ当たり前の金融政策が模索できています。

鈴木俊一財務相は円安には「必要に応じて万全の対応をとる」などと市場の動きを繰り返しているが、口先のけん制だけでは市場の反応は、もはやありません。しかもその内容は全く的外れです。

今大事なことは国民の懐を暖める政策の実行です。その政策こそ日本の経済を活性化させます！